

社会科の授業づくり

～価値付け・助言～

岐阜県教育委員会

令和7年2月 更新

価値付け・助言の役割

育成を目指す資質・能力を児童生徒に育むために
児童生徒の学習状況を評価規準に照らして見取り、評価

毎時間の授業で**価値付け・助言**



価値付け

児童生徒の学習の過程や成果の価値を認め、共有するための教師の言葉がけ
→評価を即時的に児童生徒にフィードバックする。

助言

児童生徒がよりよい考え（解決の糸口）を見出すための教師の言葉がけ
→評価規準を基に児童生徒の学習状況を見取り、必要な支援を行う
ことで児童生徒の学習改善につなげる。

社会的な見方・考え方に沿った価値付け・助言が重要

価値付け・助言の場面と視点

単元の学習過程

課題把握

動機付け
方向付け

課題追究

情報収集
考察・構想

課題解決

まとめ
振り返り

【視点】

- ・ 社会的事象から気付いたことや疑問に思ったことを出し合い、**課題**を設定しているか？
- ・ 既習内容、生活経験、導入資料から**予想**をもっているか？
- ・ 予想に基づいて**学習計画**（調べ方、まとめ方）を立てているか？

など



価値付け・助言の場面と視点

単元の学習過程

課題把握

動機付け
方向付け

課題追究

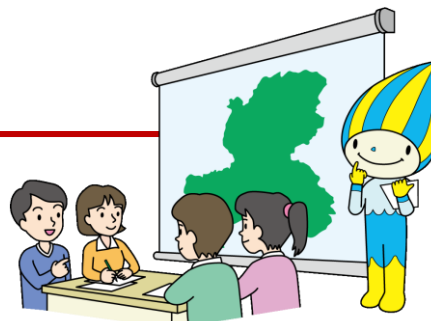
情報収集
考察・構想

課題解決

まとめ
振り返り

【視点】

- ・ 必要な資料を収集し、**正確**に事実を読み取っているか？
- ・ **社会的な見方・考え方**を働かせて考察・構想しているか？
- ・ 社会的事象の特色や意味などを**多面的・多角的**に考察しているか？
- ・ 社会に見られる課題を把握してその解決に向けて**構想（選択・判断）**しているか？
など



価値付け・助言の場面と視点

単元の学習過程

課題把握

動機付け
方向付け

課題追究

情報収集
考察・構想

課題解決

まとめ
振り返り



【視点】

- ・ 課題について、考察したことや構想したことを**整理して**まとめているか？
- ・ これまでの学習を振り返って、**他の事象**にあてはめたり、**自分の生活との関わり**について考えたりしているか？
- ・ **新たな問い**を見出しているか？

など

価値付けの内容（例）

思考方法	教師による価値付け
具体	「具体的に例を挙げて分かりやすく説明することができましたね。」
比較	「資料Aと資料Bを比べて共通点（相違点）を見つけることができましたね。」
分類	「考えを整理し、分類をしてまとめることができましたね。」
関連	「複数の資料（既習内容、生活経験等）とつなげて考えることができましたね。」
意味	「事実を基に課題につなげて考えることができましたね。」
仮定	「もし～ならば…だろうと、予測して考えることができましたね。」
多面	「自然環境と産業だけでなく、歴史的な側面からも考えることができましたね。」
多角	「消費者だけでなく、生産者の立場からも考えることができましたね。」
総合	「話し合いを踏まえ、キーワードを使ってまとめることができましたね。」



社会的な見方・考え方を働かせ、調べ考え表現する力を育成

助言の在り方（実践例 1）

小学校 第5学年 単元名「米づくりの盛んな地域」（全8時間）

課題把握の場面（2 / 8）

【本時の課題】

庄内平野で米づくりにかかわる人々はどのような工夫や努力をして、よりよい米を生産しているのか予想し、学習計画を立てよう。

【本時の評価規準】 = おおむね満足できる状況（B）

諸資料を基に、米づくりの工夫や努力について予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。（主体的に学習に取り組む態度）

	努力を要する状況（C）
児童の様子	米づくりの工夫や努力について予想がもてず、調べることや調べ方、まとめ方を決めることができない。
 評価規準の到達のために・・・ 助言の例	- 土地利用図や雨温図、稲作暦、輸送経路などの資料から、自然環境や生産方法、協力関係、輸送に着目するよう助言する。 - 調べることが同じ仲間と意見交換して、調べ方やまとめ方を参考とするように助言する。

助言の在り方（実践例 2）

中学校 第2学年 歴史的分野 単元名「明治維新」（全9時間）

課題追究の場面（8／9）

【本時の課題】

大日本帝国憲法には、どのように特色があり、そのもとでどのような政治が行われたのか？

【本時の評価規準】＝ おおむね満足できる状況（B）

政府が主導した憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などから、天皇を主権とした近代的な立憲制国家となったことを理解している。（知識・技能）

	努力を要する状況（C）
生徒の様子	憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などについて理解していない。
 評価規準の到達のために・・・ 助言の例	- 伊藤博文がドイツの憲法を学んだ理由は何か、民権派の考え（憲法案）は取り入れられたのか考えるよう助言する。 - 帝国議会と現在の国会の役割や仕組みなどを比べて、共通点や相違点を挙げるよう助言する。

助言の在り方（実践例 3）

小学校 第4学年 単元名「水はどこから」（全12時間）

課題解決の場面（12 / 12）

【本時の課題】

限りある水を使い続けるために、自分たちにできることは何だろうか？

【本時の評価規準】 = おおむね満足できる状況（B）

学習したことを基に、節水や水を汚さないために、自分たちにできることを考え、表現している。（思考・判断・表現）

	努力を要する状況（C）
児童の様子	自分たちにできることを見出せていない。
 評価規準の到達のために・・・ 助言の例	- 前時にまとめた「水の経路図」に立ち返り、水をつくり、送る施設の働きと自分たちの生活にはどんなつながりがあるのか着目するよう助言する。 - 本当にできるか（実現性）、長続きするか（持続性）などの視点で、自分たちにできることを考え、吟味するよう助言する。

価値付け・助言で大切にしたいこと

- ①単元の目標及び評価規準を踏まえ、1 単位時間ごとの評価場面や評価方法等を明確にする。

(=単元の「指導と評価の計画」の作成)

- ②評価規準に照らし、児童生徒の発想や着眼点、学び方などを受容的・共感的に受け止めて学級の中で価値付けたり、児童生徒のつまずきの様相を捉えて個別に助言したりして、学習の改善や学習意欲の向上を図る。

- ③発言内容、ノート記述などから、児童生徒の学習状況を的確に把握し、指導の改善に生かす。



社会科の授業づくり～価値付け・助言～

岐阜県教育委員会